

Y28a

## 金環日食限界線共同観測プロジェクトの結果について

井上毅、金環日食限界線研究会（井上毅、時政典孝、大西浩次、相馬充、早水勉、安藤亨平、石坂千春、鶴浜義治、福原直人、岸本浩、半田利弘、有本淳一、近藤正宏、谷川智康、洞口俊博、島浩二、西野藍子、高橋進、井上和俊、山村秀人、艶島敬昭、松井聡、鈴木康史、比嘉義裕、佐藤信、薄謙一、山内誠、渡部勇人、高村裕三朗、小和田稔、高島英雄、富岡啓行、河野健太、齋藤泉、船越浩海、是恒邦通、安藤和真、塩田和生、百瀬雅彦、武島佑季、野澤恵、福本晃造、福土碧沙、竹内彰継、渡辺文雄、渡辺裕之、宮下和久、外村一）、みんなで日食マップを作ろう！参加者のみなさん

2012年5月21日に金環日食や食分の大きな部分日食が日本全国各地で観測された。金環日食における金環食帯の境界（以下、金環日食限界線、または限界線という）は、太陽・月・地球の諸量に依存する。今回の金環日食では、限界線が南西-北東に日本を横断するので広い地域で観測可能であると同時に、日本の月探査衛星「かぐや」による詳細な月縁データが使える最初の日食でもある。この貴重な機会に、金環日食限界線研究会を立ち上げ（井上ほか2012年春季年会）、各種の共同観測を企画・実行することができた。研究会には、チームR（日食めがねによる限界線観測）、チームB（ベイリービーズ観測による太陽半径測定）、チームM（多地点日食画像撮影と教育映像作成）という3つのチームと、各地で観測を行う地域グループがある。日食当日、天候が悪く観測できなかった場所もあったが、多くの地域で晴天となり食の最大のころの観測に成功している。日食めがねによる限界線観測では全国から1万人を超える人々から報告があった。この報告は<http://www.eclipse2012.jp/>で見ることができる。本発表では金環日食限界線共同観測プロジェクトの内容とその初期解析の結果について報告する。